

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぷだより

謹んで新年のお慶びを 申し上げます

NO. 253 責任者
青山 茂次郎



昨年、4月より、これまでの委託事業者から指定管理者となり、『あいほうぷ吹田』の包括的運営をさつき福祉会が務めることとなりました。

事業運営計画に基づき、生活介護事業の開所日増、これまで利用できなかった医療的ケア者のショートステイ利用を6月より始め、長くコロナ禍の中で、利用者の活動も大きく制限されていましたが、徐々に取り組みの輪を広げていくことができ、3年振りの「あいほうぷ祭」も地域の皆さんも参加され開催する

ことができました。長く携わってくださっていたボランティアの皆さんも活動始めています。

あいほうぷ吹田がこの地に開設し、21年間経過しました。これまで積み上げてきた利用者支援をしっかりと受け継ぎ、地域のネットワークの要として、また障がいの重い利用者、家族の応えられるよう職員一同努力を重ねていく所存です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

施設長 青山 茂次郎

あの堀江ファミリーが再び来てくれました！

12月19日に数年ぶりに吹田市を中心に活動している堀江ファミリーによるあいほうぷ吹田クリスマスコンサートが開かれました。ピアノ、チェロ、バイオリンの音が聞こえてくると音楽に合わせて歌うよう

に声を出す利用者の方や素敵な音色にうっとりした表情を見せる方など、それぞれが堀江ファミリーの奏でる極上の音楽を感じて楽しんでいました。

なかなかコンサート会場に足を運ぶことが難しい私たちですが、そんな私たちでも楽しめるようなとの気持ちであいほうぷ吹田に来ていただいているとの話を伺い、大変嬉しく思っています。1月13日には吹田メイシアターでコンサートが開かれるようですので、ぜひ足をお運びいただければと思います。





すぷりんぐ班は、11月29日に、宝塚市にある手塚治虫記念館に行ってきました。

お昼休憩に立ち寄った、開業5周年の宝塚北サービスエリアは宝塚歌劇場をコンセプトにした施設で、バリアフリー設備がとても充実していてトイレや休憩スペースなど広々と使用することができました。また、たくさんの手塚作品のキャラクターで溢れていたのも、記念館に着く前から雰囲気を感じ

じれるコースとなり、利用者の皆さんの期待が高まっていました。

手塚治虫記念館では、火の鳥のオブジェに迎えられ、リボンの騎士の王級風エントランスホールから入場です。手塚マンガの宇宙船をモチーフにした館内はとても目を引き、多くの利用者の皆さんが目を輝かせていました。手塚治虫の年表ではマンガやアニメの歴史を学びながら楽しむことができました。地上最大のロボットの巻を原作とした、Netflixで配信されているアニメ、PLUTOの企画展示も行われており、当時と比較しながら楽しむこともできました。



すぷりんぐ班

所外活動に行ってきました！！

宇宙班



宇宙(そら)班では秋の定例行事として利用者の皆さんひとりひとりの要望をお聞きして、いくつかのグループに分かれ、所外活動に出かけました。ステーキレストランでの食事をメインに堪能するグループや、ららぽーとエキスポシティでフードコートでの昼食後に買い物を楽しむグループなど。

食事は加工が必要な方もおられるので、事

前にメニューを決めて当日をむかえましたが、現地に着くと他のお店やおいしそうなメニューを目にして、「やっぱりあっちも食べたい！どうしようかな・・・」と悩まれている姿もありました。悩んで、悩んで選んで食べた食事は格別だったようです。買い物組は、クリスマス前ということもあり、自身や家族へのプレゼントを購入する姿もあり、特別な所外活動となりました。

小高さんと一緒に考えよう



今回は図書館でお借りした本に載っていたSDGsの礎を築いたともいえる、アメリカの社会を変えたライアン・ホワイト君のお話です。

ライアン・ホワイト君は生まれながらに血友病という遺伝的な病気を持っていました。その治療の為に使っていた血液製剤からHIVウイルスに感染してしまい、13歳の時にエイズと診断されます。

彼が病気になった頃(1984年)はこの病気の事はあまり知られておらず、行っていた学校では、「他の生徒に触るな」や「水道は使うな」等と言われ、不当な扱いを受け、その学校にはいられなくなりました。学校からだけではなく、地域の人々からも白い目で見られ、家の窓に銃弾を打ち込まれるような怖い体験もしました。

結局、引っ越しを余儀なくさせられたのですが、

引っ越した先の学校では、エイズの正しい知識を広め、差別をしないように教育していたので、偏見やいじめはなくなりました。

「血友病」と「エイズ」、そして「いじめや偏見」と戦った彼はメディアにもたくさん取り上げられ、多くの人に正しいエイズについての正しい知識を広めてくれました。

しかし、1990年4月8日、ライアン君は18歳の若さで亡くなりました。彼の葬儀は「インディアナ州最大規模の葬儀」と言われ、彼の臨終にも立ち会った、歌手のエルトン・ジョンが司会を行ないました。

彼の死後、「ライアン・ホワイトケア・アクト」というエイズの人を支援する法律ができ、彼は大きな社会変革もたらす事になりました。

小高さんは障がい当事者として、障害者権利条約を原点にした、障がい者の啓発を行い、SDGsの目標3の「すべての人に健康と福祉を」や目標10の「人や国の不平等をなくそう」などの目標達成に寄与したいとおっしゃっていました。

あいほうぷ吹田 公開講座

『パラスポーツ・ボッチャと障がいのある人の社会参加』

2024年2月16日(金)
19時～21時

ボッチャの紹介や障がいのある人の地域活動についての話、参加者の皆様とボッチャの体験を行います。

講師
松田 忠司 (理学療法士)



お申し込み

月～金 9時～16時

申し込み期限 2024年2月10日(土)

06-6816-6895

(定員15名に達し次第、
受付終了とさせていただきます。)

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。当日午前10時までのご予約で13時以降のご利用ができます。原則1時間に1組。
*ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます(土日9時~22時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

サンタクロースが来る頃になると我が家の子供たちは「サンタさんと遊べるかなあ」「写真とれるかなあ」とプレゼントよりに、サンタクロースという未知なる存在に興味津々のようです。手紙を書いたり、サンタさんからのメッセージをもらったりと交流を楽しんでいるようです。私もクリスマスMASの時期が来ると思い出すことがあります。小さい頃、煙突がなかった我が家では、サンタさんはベランダにそりを置いて来ると思っていました。子供心にももしかしたら、あわてんぼうのサンタさんが日にちを間違えて来ることがあるかもしれないと思います。クリスマス前々日くらいから、夜中にこっそり起きて、ベランダの窓の鍵をあけていたのを思い出します。閉めたはずの窓の鍵が何であいているのか、家族でも問題になりましたが、あれは私の仕事です。



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>